

算命学中庸

【初年】 6 1 回目

6 1 回目の授業はこのページからです。

授業科目 【天中殺論】 (7)

・【初年】 6 1 回目 【天中殺論 (7)】 「十二大従星中殺」 01

【天中殺論】 (7)からは『じゅうにだいにじゅうせいちゅうさつ十二大従星中殺』の勉強に入ります。その前に「じゅうだいしゅせいちゅうさつ十大主星中殺」についてついき追記します。

にっかんし日干支の天中殺は全ての人にあります。

こうてんうん後天運でまわってくるねんてんちゅうさつ年天中殺（陰陽2年間）は、〔84歳〕まで生きたとすれば、一生のなかで7回まわってきます。12年間のなかで（2年間）が「年天中殺」になります。

後天運の天中殺に「たいうんてんちゅうさつ大運天中殺（20年間）」もありますが、大運天中殺は〔ある人〕と〔無い人〕がいます。

〔たとえば〕 後天運こうてんうんの「年天中殺ねんてんちゆうさつ」で『十大主星中殺じゅうだいしゅせいちゆうさつ』が2年間まわってきたときは、十大主星は中殺現象を起こしますから、その星は不自然ほし ふしぜん・不融合ふゆうごうになります。

⇒ 「十大主星中殺」の現あらわれは星によってさまざまです。

〔たとえば〕 運勢のなかの解釈として、〔龍高星中殺りゅうこうせいちゆうさつ＝偏母へんぼ〕〔玉堂星中殺ぎょくどうせいちゆうさつ＝実母じつぼ〕がまわってきた年は、母親としになにか問題が起きるのでは……と考えることができます。

拡大解釈かくだいかいしゃくすれば両親になにか起きるのでは……と考えることもできます。

目上という意味では、会社なら上司とのあいだで揉め事も ごとが起こる。という風ふうにも観みます。

参考：現れ〔内容や内面が表にでる。〕

参考：拡大解釈〔通常よりも広げて解釈すること。〕

参考：風〔そのような姿・状態であること。〕

⇒ 『十大主星中殺じゅうだいしゅせいちゆうさつ』と『十二大従星中殺じゅうにだいにじゅうせいちゆうさつ』のあいだにはこと異なる特徴があります。

「十大主星中殺」つぎつぎと干支かが変わってゆきます。

『十二大従星中殺』干支かが変わらないのです。

このことは順次ご説明します。

じゅうだいしゅせいちゅうさつ
 ☞ 「十大主星中殺」 から説明します。

🔍 六十干支表 ⇒ 「^{こうぼくのねすい}甲子」の干支番号は 1 です。

参考資料①

六十干支表

壬	子	49	庚	子	37	戊	子	25	丙	子	13	甲	子	1
癸	丑	50	辛	丑	38	己	丑	26	丁	丑	14	乙	丑	2
甲	寅	51	壬	寅	39	庚	寅	27	戊	寅	15	丙	寅	3
乙	卯	52	癸	卯	40	辛	卯	28	己	卯	16	丁	卯	4
丙	辰	53	甲	辰	41	壬	辰	29	庚	辰	17	戊	辰	5
丁	巳	54	乙	巳	42	癸	巳	30	辛	巳	18	己	巳	6
戊	午	55	丙	午	43	甲	午	31	壬	午	19	庚	午	7
己	未	56	丁	未	44	乙	未	32	癸	未	20	辛	未	8
庚	申	57	戊	申	45	丙	申	33	甲	申	21	壬	申	9
辛	酉	58	己	酉	46	丁	酉	34	乙	酉	22	癸	酉	10
壬	戌	59	庚	戌	47	戊	戌	35	丙	戌	23	甲	戌	11
癸	亥	60	辛	亥	48	己	亥	36	丁	亥	24	乙	亥	12
水 行			金 行			土 行			火 行			木 行		

☞ カルロス・ゴーンの日干支は「甲子」

日干支	月干支	年干支
甲子	丁卯	甲午

こうぼくのねすい
「甲子」の干支番号は 1 です。

にっかんし しょうがい いぬいてんちゅうさつ
日干支が「甲子」の人は生涯「戌亥天中殺」です。

参考資料②

天中殺表

甲寅 51	甲辰 41	甲午 31	甲申 21	甲戌 11	甲子 1
乙卯 52	乙巳 42	乙未 32	乙酉 22	乙亥 12	乙丑 2
丙辰 53	丙午 43	丙申 33	丙戌 23	丙子 13	丙寅 3
丁巳 54	丁未 44	丁酉 34	丁亥 24	丁丑 14	丁卯 4
戊午 55	戊申 45	戊戌 35	戊子 25	戊寅 15	戊辰 5
己未 56	己酉 46	己亥 36	己丑 26	己卯 16	己巳 6
庚申 57	庚戌 47	庚子 37	庚寅 27	庚辰 17	庚午 7
辛酉 58	辛亥 48	辛丑 38	辛卯 28	辛巳 18	辛未 8
壬戌 59	壬子 49	壬寅 39	壬辰 29	壬午 19	壬申 9
癸亥 60	癸丑 50	癸卯 40	癸巳 30	癸未 20	癸酉 10
子丑	寅卯	辰巳	午未	申酉	戌亥
12・1	2・3	4・5	6・7	8・9	10・11

戌亥天中殺範囲

天中殺表 をみると……戌亥天中殺の範囲がわかります。

日干支が「甲子」の人はどなたでもいぬいてんちゅうさつ戌亥天中殺です。

〔たとえば〕 1994(平成 6)は「こうぼくのいぬど甲戌」の年です。

1995(平成 7)は「おつぼくのいすい乙亥」の年です。

つぎのページに干支歴を記載しました。ご確認ください。

🔍 平成 7 年 (1995) と 平成 6 年 (1994) の干支歴です。

1995 年の年干支は「乙亥」 1994 年の年干支は「甲戌」

参考資料③

『干支歴』

平成 7 年 (1995) 乙亥			
月	節入日	節月干支	1 日干支
2	4	戊寅	癸亥
3	6	己卯	辛卯
4	5	庚辰	壬戌
5	6	辛巳	壬辰
6	6	壬午	癸亥
7	7	癸未	癸巳
8	8	甲申	甲子
9	8	乙酉	乙未
10	9	丙戌	乙丑
11	8	丁亥	丙申
12	7	戊子	丙寅
1(平8)	6	己丑	丁酉

平成 6 年 (1994) 甲戌			
月	節入日	節月干支	1 日干支
2	4	丙寅	戊午
3	6	丁卯	丙戌
4	5	戊辰	丁巳
5	6	己巳	丁亥
6	6	庚午	戊午
7	7	辛未	戊子
8	8	壬申	己未
9	8	癸酉	庚寅
10	8	甲戌	庚申
11	8	乙亥	辛卯
12	7	丙子	辛酉
1(平7)	6	丁丑	壬辰

平成 9 年 (1997) 丁丑			
月	節入日	節月干支	1 日干支
2	4	壬寅	甲戌
3	5	癸卯	壬寅
4	5	甲辰	癸酉
5	5	乙巳	癸卯
6	6	丙午	甲戌
7	7	丁未	甲辰
8	7	戊申	乙亥
9	7	己酉	丙午
10	8	庚戌	丙子
11	7	辛亥	丁未
12	7	壬子	丁丑
1(平10)	5	癸丑	戊申

平成 8 年 (1996) 丙子			
月	節入日	節月干支	1 日干支
2 閏	4	庚寅	戊辰
3	5	辛卯	丁酉
4	4	壬辰	戊辰
5	5	癸巳	戊戌
6	5	甲午	己巳
7	7	乙未	己亥
8	7	丙申	庚午
9	7	丁酉	辛丑
10	8	戊戌	辛未
11	7	己亥	壬寅
12	7	庚子	壬申
1(平9)	5	辛丑	癸卯

🔍 カルロス・ゴーンの日干支は「^{にっかんし}甲^{こうぼくのねすい}子」です。

彼の宿命を〔例題〕にして話しを進めます。

✳ カルロス・ゴーン 1954-3-9

宿命(1) カルロス

戌 亥 日干支の天中殺	日干支	月干支	年干支		第四命星	第3従星		
	甲	丁	甲		貫索星	天極星		
	子	卯	午	第一命星	玉堂星	石門星	司祿星	第三命星
			・		天恍星	調舒星	天将星	
			己	第1従星	第二命星	第2従星		
	癸	卯	丁	カルロスは 戌亥天中殺 です。				

2018年^{ぼどのいぬど}「戌戌」11月、金融商品取引法違反で逮捕される。
日産、三菱の会長職を解任され、2019年1月に特別背任罪
で追起訴された。

2019年^{きどのいすい}「己亥」4月、日産の取締役を解任される。
2019年「己亥」12月、関西国際空港から音響機材搬送用の
の箱に隠れて日本から密出国してレバノンへ逃亡。

2018年と2019年はカルロス・ゴーン^{とし}の天中殺の年です。
この2年間は『干支歴』で確認します。 ➡

→ 2019年^{きどのいすい}己亥 と 2018年^{ほどのいぬど}戊戌^{かんしれき}の干支歴です。

2019年の年干支は「己亥」^{ねんかんし} 2018年の年干支は「戊戌」^{ねんかんし}

参考資料④

『干支歴』

2019年 己亥			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	丙寅	己巳
3	6	丁卯	丁酉
4	5	戊辰	戊辰
5	6	己巳	戊戌
6	6	庚午	己巳
7	7	辛未	己亥
8	8	壬申	庚午
9	8	癸酉	辛丑
10	8	甲戌	辛未
11	8	乙亥	壬寅
12	7	丙子	壬申
1 (2020)	6	丁丑	癸卯

2018年 戊戌			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	甲寅	甲子
3	6	乙卯	壬辰
4	5	丙辰	癸亥
5	5	丁巳	癸巳
6	6	戊午	甲子
7	7	己未	甲午
8	7	庚申	乙丑
9	8	辛酉	丙申
10	8	壬戌	丙寅
11	7	癸亥	丁酉
12	7	甲子	丁卯
1 (2019)	6	乙丑	戊戌

2021年 辛丑			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	庚寅	庚辰
3	5	辛卯	戊申
4	4	壬辰	己卯
5	5	癸巳	己酉
6	5	甲午	庚辰
7	7	乙未	庚戌
8	7	丙申	辛巳
9	7	丁酉	壬子
10	8	戊戌	壬午
11	7	己亥	癸丑
12	7	庚子	癸未
1 (2022)	5	辛丑	甲寅

2020年 庚子			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	4	戊寅	甲戌
3	5	己卯	癸卯
4	4	庚辰	甲戌
5	5	辛巳	甲辰
6	5	壬午	乙亥
7	7	癸未	乙巳
8	7	甲申	丙子
9	7	乙酉	丁未
10	8	丙戌	丁丑
11	7	丁亥	戊申
12	7	戊子	戊寅
1 (2021)	5	己丑	己酉

🔍 カルロス・ゴーンの「十大主星」をだします。

2018年「^{ほどのいぬど}戊戌」十大主星は^{ろくぞんせい}禄存星中殺です。

十大主星表で日干(甲木)から(戊土)をみると禄存星。

2019年「^{きどのいすい}己亥」十大主星は^{しろくせい}司禄星中殺です。

十大主星表で日干(甲木)から(己土)をみると司禄星。

参考資料⑤

十大主星表

癸	壬	辛	庚	己	戊	丁	丙	乙	甲	日干 星
癸	壬	辛	庚	己	戊	丁	丙	乙	甲	貫索星
壬	癸	庚	辛	戊	己	丙	丁	甲	乙	石門星
乙	甲	癸	壬	辛	庚	己	戊	丁	丙	鳳閣星
甲	乙	壬	癸	庚	辛	戊	己	丙	丁	調舒星
丁	丙	乙	甲	癸	壬	辛	庚	己	戊	禄存星
丙	丁	甲	乙	壬	癸	庚	辛	戊	己	司禄星
己	戊	丁	丙	乙	甲	癸	壬	辛	庚	車騎星
戊	己	丙	丁	甲	乙	壬	癸	庚	辛	牽牛星
辛	庚	己	戊	丁	丙	乙	甲	癸	壬	龍高星
庚	辛	戊	己	丙	丁	甲	乙	壬	癸	玉堂星

参考資料⑥

『十大主星表』

- ① 日干から年干を見て 第四命星
- ② 日干から月干を見て 第二命星
- ③ 日干から年支の蔵干を見て 第三命星
- ④ 日干から月支の蔵干を見て 主星
- ⑤ 日干から日支の蔵干を見て 第一命星

	第四命星	日干「甲」から十大主星表の「戊」をみると 禄存星
第一命星	主星	第三命星
	第二命星	日干「甲」から十大主星表の「己」をみると 司禄星

十大主星表

癸	壬	辛	庚	己	戊	丁	丙	乙	甲	日干	星
癸	壬	辛	庚	己	戊	丁	丙	乙	甲	貫索星	
壬	癸	庚	辛	戊	己	丙	丁	甲	乙	石門星	
乙	甲	癸	壬	辛	庚	己	戊	丁	丙	鳳閣星	
甲	乙	壬	癸	庚	辛	戊	己	丙	丁	調舒星	
丁	丙	乙	甲	癸	壬	辛	庚	己	戊	禄存星	
丙	丁	甲	乙	壬	癸	庚	辛	戊	己	司禄星	
己	戊	丁	丙	乙	甲	癸	壬	辛	庚	車騎星	
戊	己	丙	丁	甲	乙	壬	癸	庚	辛	牽牛星	
辛	庚	己	戊	丁	丙	乙	甲	癸	壬	龍高星	
庚	辛	戊	己	丙	丁	甲	乙	壬	癸	玉堂星	

☞ 「干支番号」の確認は **天中殺表** をみると速いです。

なぜなら「甲」が横一列に並んでいます。

「乙」も横一列に並んでいます。

すべての「^{じっかん}十干」が横一列に並んでいますから、さがすのは簡単です。

「^{こうぼくのいぬど}甲戌」干支番号は **11**

「^{おつぼくのいすい}乙亥」干支番号は **12**

参考資料⑦

天中殺表

甲寅 51	甲辰 41	甲午 31	甲申 21	甲戌 11	甲子 1
乙卯 52	乙巳 42	乙未 32	乙酉 22	乙亥 12	乙丑 2
丙辰 53	丙午 43	丙申 33	丙戌 23	丙子 13	丙寅 3
丁巳 54	丁未 44	丁酉 34	丁亥 24	丁丑 14	丁卯 4
戊午 55	戊申 45	戊戌 35	戊子 25	戊寅 15	戊辰 5
己未 56	己酉 46	己亥 36	己丑 26	己卯 16	己巳 6
庚申 57	庚戌 47	庚子 37	庚寅 27	庚辰 17	庚午 7
辛酉 58	辛亥 48	辛丑 38	辛卯 28	辛巳 18	辛未 8
壬戌 59	壬子 49	壬寅 39	壬辰 29	壬午 19	壬申 9
癸亥 60	癸丑 50	癸卯 40	癸巳 30	癸未 20	癸酉 10
子丑	寅卯	辰巳	午未	申酉	戌亥
12・1	2・3	4・5	6・7	8・9	10・11

🔍 「^{ろくじゅうかんしひょう}六十干支表」でさがすときは **甲戌 11** **乙亥 12** ですから、干支番号の **11** と **12** をみればよいわけです。

ご理解いただけましたでしょうか……？

☞ もう一人^{ひとり}を例^{れい}にして説明します。

宿命(2) 高市早苗

✽ ^{たかいち}高市 ^{さなえ}早苗 1961-3-7 (第104代内閣総理大臣)

大運は10歳運の順まわり

				大運	十大主星	十二大従星	} 大運天中殺
日干支の天中殺	己	辛	辛	1 旬 10 壬辰	司禄星	天堂星	
	辰	亥	卯 丑	2 旬 20 癸巳	禄存星	天将星	
	巳	甲	癸	3 旬 30 甲午	牽牛星	天禄星	
			辛	4 旬 40 乙未	車騎星	天南星	
		壬	乙 己	5 旬 50 丙申	玉堂星	天恍星	
				6 旬 60 丁酉	龍高星	天貴星	

		第四命星	第3従星		
		鳳閣星	天庫星		
第一命星	牽牛星	車騎星	禄存星	第三命星	
	天報星	鳳閣星	天胡星		
		第1従星	第二命星		
			第2従星		

[10歳～30歳まで20年間の^{たいうんてんちゆうさつ}大運天中殺]

🔍 ここからは十大主星表と十二大従星表をつかいます。

[10～20歳] 己から壬をみると司禄星。己から辰をみると天堂星。^{しろうくせい}十大主星は司禄星中殺。^{てんどうせい}十二大従星は天堂星中殺。

[20～30歳] 己から癸をみると^{ろくぞんせい}禄存星。己から巳をみると天将星。^{ろくぞんせい}十大主星は禄存星中殺。^{てんしょうせい}十二大従星は天将星中殺。

たかいちさなえ たつみてんちゅうさつ
高市早苗さんは「辰巳天中殺」です。

1961年3月7日に生まれて、彼女の運勢がうごきはじめてから、初めての天中殺は1976年〔15歳〕のときです。

1976年「^{へいかのたつど}丙辰」3月7日〔15歳〕から1年間^{しやきせい}は車騎星の天中殺です。^{しやきせいちゅうさつ}車騎星中殺の意味合いになります。

1977年「^{ていかのみび}丁巳」3月7日〔16歳〕から1年間^{けんぎゅうせい}は牽牛星の天中殺です。^{けんぎゅうちゅうさつ}牽牛星中殺の意味合いになります。

参考：意味合い〔いろいろな事柄を背景として持っている表現の内容。〕

2024年「^{こうぼくのたつど}甲辰」3月7日〔63歳〕から^{けんぎゅうせいちゅうさつ}牽牛星中殺。

日干^き「己」から2024年の干^{かん}「^{こう}甲」をみると（木→×土）と己土が甲木から^{けんぎゅうせい}剋くされますから牽牛星です。

2025年「^{おつぼくのみび}乙巳」3月7日〔64歳〕から^{しやきせいちゅうさつ}車騎星中殺。

日干の^き「己」から2025年の干^{かん}「^{おつ}乙」をみると（木→×土）と己土が乙木から^{しやきせい}剋くされますから車騎星です。

じゅうだいしゅせいちゅうさつ たいうんてんちゅうさつ ねんてんちゅうさつ
十大主星中殺は「大運天中殺」「年天中殺」があります。

たいうん
大運天中殺は大運で（辰）と（巳）がまわってくる20年間です。

〔大運天中殺はある人と無い人がいます。〕

ねんうん
年運天中殺は年運で（辰）と（巳）まわってくる2年間です。

〔年運天中殺はどなたにも必ずあります。〕

2024年「^{こうぼくのたつど}甲^{とし}辰」の年は天中殺です。

十大主星は牽牛星中殺です。 十二大従星は天堂星中殺です。

2025年「^{おつぼくのみび}乙巳」の年は天中殺です。

十大主星は車騎星中殺です。 十二大従星は天将星中殺です。

毎年「^{かんし}干支」は変わりますから「^{じゅうだいしゅせいちゅうさつ}十大主星中殺」の
場合は次から次へ変わります。

これが特徴です。

「十大主星中殺」はつきつき変わりますから……

^{ろくじゅうかんし}六十干支が^{いちじゅん}一巡して60年が経過すると、十大主星
天中殺の場合は、^{すべ}全て^{めぐ}巡って来ることになります。

算命学は「不自然融合は精神性を^{きた}鍛える」と考えて
いますから、60年経過すると、^{ひとかわむ}一皮剥ける人間性が
できますよ。ということでもあるのです

参考：一皮剥ける〔性格・技術などが、洗練されて前よりもよくなる。〕

☞ ^{じゅうだいしゅせいちゅうさつ}「十大主星中殺」はつきつき変わります。

☞ 『^{じゅうにだいにじゅうせいちゅうさつ}十二大従星中殺』は変わりません。

それってどうして……？

高市早苗総理の宿命を〔^{れい}例にして〕説明します。 ➡

☞ 高市早苗さんの日干支は「己亥」です。

にっかんし きどのいすい たつみてんちゅうさつ
日干支「己亥」の天中殺は辰巳天中殺です。

いっしょうがい
一生涯おなじ辰巳天中殺です。

🔍 ここからは 十二大従星表 をつかいます。

高市早苗さん

① 1976年の年干支は「丙辰」〔15歳〕辰巳天中殺の年。

日干「己土」から（辰）をみると十二大従星は〔天堂星〕
です。天堂星中殺の年になります。

② 1977年の年干支は「丁巳」〔16歳〕辰巳天中殺の年。

日干「己土」から（巳）をみると十二大従星は〔天将星〕
です。天将星中殺の年になります。

③ 2024年の年干支は「甲辰」〔63歳〕辰巳天中殺の年。

日干「己土」から（辰）をみると十二大従星は〔天堂星〕
です。天堂星中殺の年になります。

④ 2025年の年干支は「乙巳」〔64歳〕辰巳天中殺の年。

日干「己土」から（巳）をみると十二大従星は〔天将星〕
です。天将星中殺の年になります。

☞ このように『十二大従星中殺』は変わらないのです。

＊ 高市早苗さんの日干は「己土」です。

十二大従星中殺の見方⇒ 日干「己土」から（辰）をみると天堂星です。

十二大従星中殺の見方⇒ 日干「己土」から（巳）をみると天将星です。

参考資料⑧

十二大従星表

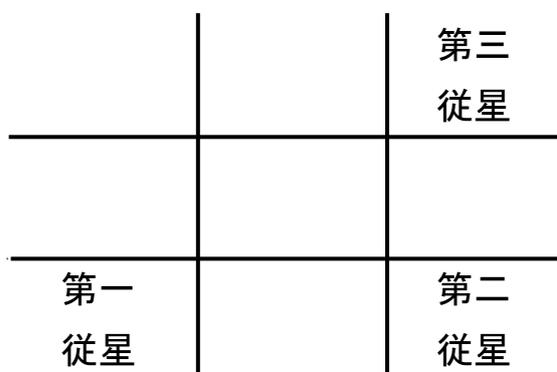
癸	壬	辛	庚	己	戊	丁	丙	乙	甲	日干 星
巳	午	寅	卯	亥	子	亥	子	申	酉	天報星
辰	未	丑	辰	戌	丑	戌	丑	未	戌	天印星
卯	申	子	巳	酉	寅	酉	寅	午	亥	天貴星
寅	酉	亥	午	申	卯	申	卯	巳	子	天恍星
丑	戌	戌	未	未	辰	未	辰	辰	丑	天南星
子	亥	酉	申	午	巳	午	巳	卯	寅	天禄星
亥	子	申	酉	巳	午	巳	午	寅	卯	天将星
戌	丑	未	戌	辰	未	辰	未	丑	辰	天堂星
酉	寅	午	亥	卯	申	卯	申	子	巳	天胡星
申	卯	巳	子	寅	酉	寅	酉	亥	午	天極星
未	辰	辰	丑	丑	戌	丑	戌	戌	未	天庫星
午	巳	卯	寅	子	亥	子	亥	酉	申	天馳星

十二大従星中殺の見方⇒ 日干「己土」から（辰）をみると天堂星です。

十二大従星中殺の見方⇒ 日干「己土」から（巳）をみると天将星です。

参考資料⑨ 『十二大従星表』

- ① 日干から年支を見て 第三従星
- ② 日干から月支を見て 第二従星
- ③ 日干から日支を見て 第一従星



十二大従星表

癸	壬	辛	庚	己	戊	丁	丙	乙	甲	日干 星
巳	午	寅	卯	亥	子	亥	子	申	酉	天報星
辰	未	丑	辰	戌	丑	戌	丑	未	戌	天印星
卯	申	子	巳	酉	寅	酉	寅	午	亥	天貴星
寅	酉	亥	午	申	卯	申	卯	巳	子	天恍星
丑	戌	戌	未	未	辰	未	辰	辰	丑	天南星
子	亥	酉	申	午	巳	午	巳	卯	寅	天禄星
亥	子	申	酉	巳	午	巳	午	寅	卯	天将星
戌	丑	未	戌	辰	未	辰	未	丑	辰	天堂星
酉	寅	午	亥	卯	申	卯	申	子	巳	天胡星
申	卯	巳	子	寅	酉	寅	酉	亥	午	天極星
未	辰	辰	丑	丑	戌	丑	戌	戌	未	天庫星
午	巳	卯	寅	子	亥	子	亥	酉	申	天馳星

高市さんの天中殺の^{とし}年に「十大主星中殺」は変わります。

『十二大従星中殺』の^{てんどうせいちゆうさつ}天堂星中殺と^{てんしょうせいちゆうさつ}天将星中殺は変わりません。 🔍 **十大主星表** と **十二大従星表** を参照ください。

⇒ 高市早苗さんを〔例〕にして説明します。

2023「^{きすいのうぼく}癸卯」 2024「^{こうぼくのたつど}甲辰」 2025「^{おつぼくのみび}乙巳」 2026「^{へいかのうまび}丙午」

彼女の^{にっかん}日干は「^{きど}己土」です。

2023年⇒日干「^{きど}己土」から「^{きすい}癸水」をみると^{しらくせい}司禄星。

2023年⇒日干「^{きど}己土」から「^{うぼく}卯木」をみると^{てんゆめせい}天胡星。

2024年⇒日干「^き己」から「^{こう}甲」をみると^{けんぎゅうせいちゆうさつ}牽牛星中殺

2024年⇒日干「^き己」から「^{たつ}辰」をみると^{てんどうせいちゆうさつ}天堂星中殺

2年間は高市早苗内閣総理大臣の天中殺です。

2025年⇒日干「^き己」から「^{おつ}乙」をみると^{しゃきせいちゆうさつ}車騎星中殺

2025年⇒日干「^き己」から「^み巳」をみると^{てんしょうせいちゆうさつ}天将星中殺

2026年⇒日干「^{きど}己土」から「^{へいか}丙火」をみると^{ぎよくどうせい}玉堂星。

2026年⇒日干「^{きど}己土」から「^{てんろくせい}午火」をみると天禄星。

日干「^{きど}己土」からみて「^{たつ}辰」と「^み巳」の天中殺の年は、
十二大従星中殺は⇒天堂星中殺と天将星中殺になります。

参考資料⑩

十二大従星中殺

1

天報星中殺 ⇒ 胎児

胎児は現世に生まれてくる前の時代であるので、現世の前すなわち親や先祖と関係なく生きられる人になる。また過去にこだわらない人となる。生まれる前という状態を物事に例えると、物事を実行に移す前の段階、つまり計画の段階である。そこが中殺されるため、計画をたてるのが下手・苦手、または計画にこだわると物事がうまく進まなくなる。

天印星中殺 ⇒ 赤子

赤子の時代に、病気・怪我等になりやすく、親が苦勞させられる。また物事の出発時に自分の思いどおりにならない状態となりやすく、様々な問題が起こる。その為、仕事なら新入社員の時代に、結婚なら新婚時代に苦勞が多くなる。

天貴星中殺 ⇒ 児童

物事を始めて3～4年目位の所で中殺現象が出やすい。つまり物事を始めてやっとそれに慣れてきた所で油断して失敗する。そのためこの時期は特に注意が必要である。本来、プライドの高い星であるため、失敗すると自信喪失する。知識欲が中殺されるため、変わった知識・不自然な知識を身につけやすい。

天恍星中殺 ⇒ 少年

子供から大人になる過程の時代が中殺されるため、大人になりきれない。そのため、精神に幼児性が残るとも言えるが、常識にとらわれない考えのできる人にもなる。堅い仕事や真面目さを必要とする仕事には向かず、自由な仕事・不安定な世界に向く。それは本人の精神状態がさせるものであるが、本人が特別に意識しない所でおこなわれるものである。

十二大従星中殺

2

天南星中殺 ⇒ 青年

社会に出たばかりの所で問題が起こりやすく、本人の希望通りの状態とはならない。精神と現実のアンバランスが原因で、挫折を味わう。初年期に現実面を鍛えていな

いと、挫折から立ち直れず、臆病者・自立心に欠けた人となり、鍛えられていると立ち直れる。

天禄星中殺 ⇒ 壮年

過去の経験にこだわらない人となる。また学校で学んできたことや、仕事で経験してきた分野に固執しない方が実力を発揮できる。

そのため、職業も転職することになりやすく、またその方が伸びる、1つの生き方・自分の経験にこだわると生きづらくなる。

天将星中殺 ⇒ 家長

トップの立場に立つと実力が発揮できなくなる。家庭内でも家長の立場を意識すると家族の和を乱す結果を作る。物事でもここ一番という大事な時に、緊張したり弱気になってしまう。トップの立場でない時または平常時に力を発揮する人である。

天堂星中殺 ⇒ 老人

隠居の時代が中殺を受けるため、隠居してしまうと問題が多くなり、寿命を縮める。そのため死ぬまで従事できる仕事を持つことである。

また初年・中年においても、隠居のような生活になると(暇でやることがない等)周りに迷惑をかけ、もめごとの種を作る。

十二大従星中殺

3

天胡星中殺 ⇒ 病人

不自然な病人であるので、病気になっても自覚がないか又は無理して動こうとするかのいずれかとなる。そのため、死ぬ時は突然死的な死に方となる。

また中殺のため、肉体と精神が共に強か共に弱かのいずれかと思いつむ。つまり非常に気が強い、または弱いのどちらかの人となる。

天極星中殺 ⇒ 死人

精神と肉体、つまり精神と現実の区別が不完全となる。本来は精神的な星であるため、現実が気になると正しい判断ができなくなる。例えば相手の心を金銭や物で判断したり、情に負けて理性を失ったり、公私混同しやすくなる。

天庫星 ⇒ 入墓

正統な跡継ぎの星が中殺されるので、自分の家系を継ぐことができなくなる。他家の跡継ぎであれば果たせる。仕事でも長年いた会社ではなく、他の会社に移って中心的存在となれる。また、物事の終わりに問題が出やすく、おもいどおりの結果とはならない。

天馳星 ⇒ 彼の世

精神性の頂点が中殺を受けるため、精神の不安定となる。そのため非常に忙しく動き回るかと思えば、逆に全く動かさずのんびりしてしまう状態を繰り返す。それは本人の精神状態がさせるものであるが、本人が特別に意識しない所でおこなわれるものである。

☞ **天報星中殺** から進めます。

天報星中殺

てんぼうせい たいじ ほし
天報星は胎児の星です。

胎児の時代はいちばん親との縁が篤いときです。

胎児の時代が中殺を受けるために、親との縁が薄くなります。それは望まれないで生まれてきた人です。

〔たとえば〕子供ができるとは、思わなかったのにできてしまった子供です。

あるいは、10年もの長いあいだ子供に恵まれなかったのに、突然妊娠して生まれてくる状態です。

望んでいたけど、もう駄目だとあきらめていたのに生まれてきた子供です。

このように過去が不自然ですから、過去にこだわらない人です。

ひと
他人から見て、過去を振り返らない人といえます。それゆえ、天報星中殺の人に「過去になにかを……

してあげたから、相手が恩を感じているはずだ。」と思ったら間違いです。親切にしてあげたから相手は自分を覚えていてくれると期待してはいけません。

天報星中殺の人は、その事柄を覚えていても、そのことにこだわらないのです。

また、天報星中殺の人は、自分が他人^{ひと}になにかしてあげたことにもこだわりません。

〔いまはいま〕という考え方であり、恩^{おん}を着せても着せられても嫌がる人です。

過去にこだわらないということを、家系^{かけい}と考えると突然変異^{とつぜんへんい}の人です。

家系の質とは全^{まった}く違う質をもって誕生する人です。

〔たとえば〕真面目な家系なら不真面目な人です。

学間の家系ならスポーツ選手、商家なら農業というようにですが……その内容はわかりません。

従来の家系の質とはま^{ちが}ったく違う質の人です。

天報星を生^{せい}～死^しに置き換えて考えることができます。現世というのは物事の出発のところですが、天報星は胎児の星です。まだ出発していません。

計画・立案・準備をしている段階です。

そこが不自然になりますから、本人が細^{こま}かく計画したことでも、実際にはまったく違う内容になるという現象が起きます。いい加減になってしまうのです。

では、どうしたらよいのかといえは……計画にこだわらないことです。

前もって計画しておかないで、その場のなりゆきにまかせる。そのような生き方をすればよいのです。そのほうがうまくいきます。

〔たとえば〕通常——結婚するときには、いろいろ買い物をするとか、生活設計をするでしょうけど、そういうやり方をしますと、実際の結婚生活において、^{ことごと} 悉く^{ちが} 違いを見るようになってしまい悩みます。それゆえ、計画を立てず、突然結婚をするほうよいのです。

なにも考えずに物事をスタートするということがないでしょうが……^{めんみつ} 綿密な計画を立てないで実行に移すことです。

計画や企画を綿密に立てれば立てるほどに、実行に^{うっ} 移せなくなるということも起こります。

参考：悉く〔関係するすべてにわたって、その状況が認められる様子。〕

参考：違い〔比べるものの間に認められる相違。〕

参考：相違〔たがいに異なっていること。〕

天印星中殺

てんいんせい
天印星は赤ん坊の時代です。

天印星中殺は赤ん坊の時代が中殺されます。

赤ん坊のときには、痛いとか苦しいとかがあっても記憶していません。そのようなときに誰^{だれ}が心配して悩み苦しむかというと親です。

赤ん坊の時代が中殺されていますから、本人に……なにか起こっても本人はわかりません。

しかし、親が苦勞させられるという状態になります。

この世に生まれたときから、すべての物事・事象がはじまります。

赤ん坊の時代（人生の^{はじ}始まりの出発点）を現実の物事に置き換えて考えますと、人生のはじまりが中殺されるために物事の^{はじ}始めに問題が起きます。

仕事でも結婚でも、物事のはじまり・出発に問題が^{ふんしゅつ}噴出して、物事が思いどおりに進まなくなります。

〔たとえば〕就職すると、こんな計画ではなかった。結婚すると、このような結婚生活になるのはどうしてなの……ということが起こります。

なにか物事をはじめる前の^{おも}想いと、はじめた^{じてん}時点の^{おも}思いが違ってしまいう人です。

物事のはじまりに問題が起きるとか、なにか苦勞が起こる人です。

しかし、その時期が過ぎれば、^{あと}後は物事に向かって順調に進んでゆく人でもあるのです。

参考：時点〔時の流れの上にある一点。〕

☞ どのように対処したらよいのかです。

天印星は赤ん坊の星です。

赤ん坊はすべてを受け身で生きていますから、物事のはじめを受け入れることができます。

それゆえ、受け身で生きることです。

物事のはじめは「おとなしくしていなさい」ということです。

積極的に自分から進んで物事に働きかけてはいけません。ということです。

天貴星中殺

てん き せい じ どう ほ し
天貴星は児童の星です。

この星は生まれてから3年くらい過ぎた時代です。
なにかをいじり始めて、それがなんなのか……わからないけれど、それをいじりまわして、そのことに熱中して、一生懸命に取り組む児童の姿といえます。

天印星なら……就職してから、その職場で与えられた仕事をとにかく、一生懸命やるということが天印星の時代です。
その後、3～4年経つとようやく落ちついて、周囲の人為的事柄を観察できるようになってきます。
しかし、その時代（天貴星の時代）が中殺されます。

物事に馴染んできた頃に問題が起こります。

な した
慣れ親しむというのは、気持ちのゆるみとか、注意
おこた
を怠るためといえます。

車の運転とかも、慣れてくるとい油断して、事故とかの問題が起きます。

天貴星中殺の人は、たびたび経験して習熟してくると、気のゆるみに起因して、おなじようなことが起こりますので、何事にも注意を怠らないことです。

物事に慣^なれてきた頃に、問題が起きる人ですから、商売をしていて、業績が上がってきても、しっかりと気を張^{たいしょ}って仕事に対処することです。

参考：対処〔ある事態に対応して処理すること。〕

気の緩^{ゆる}みのもとで、仕事に問題がでるとか、会社が潰^{つぶ}れたり、結婚生活であれば、それに起因して離婚ということも起きてきます。

そのような事態になっても慌^{あわ}ててうごいてはいけません。その状態をなんとか切り抜ければ、その後は順調にゆきます。

天貴星中殺の場合、たとえ運勢的によい時期に物事を始めても問題が起こります。

天貴星は自尊^{じそんしん}心が高い質をもちますから、失敗したときの落ち込みの度合いが極端になります。

なにかで自信を失うと、ひとつの分野（その物事）だけではなくて、全てに自信を失うということが起きます。その度合いが大きく落ち込みが激しい人です。

天貴星は知識欲の旺盛な星ですから〔つねになにかを知る〕という気持ちと行動が必要な人です。そうすることで失った自信を取り戻すこともできます。

知識欲の旺盛な星ですが、知識欲の中殺ですから、一般的に広く通じる知識ではなくなります。

不自然な知識欲・変わったことに興味をもちます。

知識欲が中殺されているために、ほかから見ていて、どうでもいいような知識を身に付ける人です。

〔たとえば〕ある仕事に従事していたら、その仕事に関わる知識・技術を身に付けたほうがよいのに、全く関係のない知識を身につける人です。

他人があまり関心をもたないことに興味を抱きます。^いだ
それゆえ、天貴星中殺は雑学の大家です。

これらの観点からして、天貴星中殺は時代の動向を考えて最先端を突き進むとか……反対にその時どきの時代の流れから取り残されてしまうとかの傾向をもちます。

しかし、誰も手を付けていないような分野に進むと見事です。

天貴星中殺の人は、一般的知識は、不愉快^{ふゆかい}でもあり、おもしろくないのです。

参考：抱く〔ある種の思い詰めた気持ちを持つ。〕

参考：不愉快〔たのしくないこと。〕

天恍星中殺

てんぴかせい
天恍星（正式名称⇒てんこうせい）は子供から大人になる中間の時代（少年時代）です。

ちょうど「^{おやばな}親離れする時期」でもあります。
天恍星中殺は親離れの時期が中殺を受けてしまうので、大人に成りきれない現象がでてくるのが大きな特徴です。

成長しても幼さ・子供っぽさが残り、^{ようち}幼稚な考え方、幼児性が抜けきれません。

よくいえば純粹で、子供の頃に^{えが}描いた夢や希望をいつまでも忘れられない人です。

悪くいえば、社会常識に欠けますが、常識にこだわらないで、人が思いつかないような考え方をする人でもあります。自由な発想のできる人です。

世の中の常識にこだわらない性格なので、^{かた}堅い仕事は向きません。

変化に応じて^{たいしよ}対処できる仕事がよいです。

〔たとえば〕自由な世界、マスコミ、芸能界に向きます。子供の生活はある程度、自由奔放な世界でもありますから、計画どおりに物事を前に進めるよう

な環境だと、精神に負担がかかります。

それで登校拒否を起こすということもあります。

天恍星中殺は、大人になっても事象の変化や自由のない束縛そくばくされた状況を与えられるとアルコール中毒、異性問題でめいいた気持ちをもぎらわすようになります。

常識きせいがいねんや既成概念にこだわらない自由な発想のできる人ですから、そういう環境を与えられるとよいわけです。

つまり、その人物本来の宿命に合った環境を与えられるとよい面がでてきます。

参考：事象〔ことのみゆき。〕

参考：変化〔時間的・空間的な推移によって物事の性質や状態などの違いが現れること。〕

参考：既成概念〔事物に関して、すでにでき上がり、動きがたいものと、一般的に考えられている性質。〕

参考：変化〔時間的・空間的な推移によって物事の性質や状態などの違いが現れること。〕

天南星中殺

てんなんせい
天南星は青年の星です。

大人の仲間入りをする時代という意味があります。

天南星中殺はちょうど社会に入る頃が不自然になります。おも えが 思い描いたおりにならないとかで、その時期に物事をしそこなうという問題が起きる人です。

社会に出るとき・出たときは夢や希望があります。就職したときはどんな仕事でもすることになりますが、心の強さや実力の程度が試されるような苦しみを与えられるのが天南星中殺で「世間の水は甘くない」いうことを思い知らされます。

本人の理想と現実の姿があまりにも大きくかけ離れているので、そのすきま隙間を埋めることができないで、立ち直れないという現象も起きます。

その危機的は状況を乗り越えられるか、乗り越えられないかで、そのご後の人生が大きく変わります。

物事のはじめに問題がでる星は2星です。

てんいんせいちゅうさつ てんなんせいちゅうさつ
天印星中殺と天南星中殺です。

立ち直れるか、立ち直れないかというのは、子供の時代に決まります。

なぜかといえ、天南星は身強^{みきょう}の星です。

中殺されていても、身強であることに変わりありません。

たとえ仕事がつらくても、嫌^{いや}な上司がいても、耐えてゆけるのかどうかは、子供の頃の環境に左右されます。

つまり、過保護で育ったのか、厳^{きび}しい環境で育ったのかです。

過保護に育てられると、辛^{つら}いことから逃げようとしています。

自分が挫折したときに、他^{ひと}人のせいにします

〔たとえば〕会社に入りました。

上司や同僚に〔なにか言われた〕とかの理屈を付けたりします。

身強の人は、星を消化していないと、ちょっとした事ですぐ挫折しますから、子供の頃から厳^{きび}しく鍛^{きた}えられているのかどうかです。

このことが大切です。

天禄星中殺

てんろくせい そうねん
天禄星は壮年の時代です。

人生で1番働き盛りの年代でさまざまなことを経験してきた時代ですから「^{けいけん}経験の星^{ほし}」です。

この年代で成功していれば、それなりの経験をしている。ということになります。

天禄星は過去の経験が^{じんせいかん}人生観にもなっていますが、中殺されているために不自然に状態になります。

経験を積んでいないと天禄星のよさはできませんが、その経験に^{しゅうちやく}執着・^{こしゅう}固執すると中殺現象がでてきて、経験そのものを活かすことができなくなります。

それゆえ、経験にこだわらないほうが伸びます。

〔たとえば〕学校で経理の勉強をしたのであれば……
経理関連の仕事に付くのがふつうの姿といえますが、それにこだわらないことです。

参考：経験〔実際に見たり聞いたり行ったことで得た知識や技能。〕

参考：人生観〔人生をいかに生きるべきかについての基本的な考え方。〕

参考：執着〔その事ばかり心に思い、忘れられないこと。〕

参考：固執〔自分の考えや意見をかたくまげないこと。〕

天禄星は^{ほ さ やく}補佐役の星です。それが中殺されていますから^{しゅ い}主位に立つことができます。

参考：主位〔団体のなかで、他のメンバーをリードする地位。〕

ただし—それには条件があります。

天禄星中殺は経験に固執しないほうがよいわけですから、自分の経験に気持ちを^{こうそく}拘束されないことで、主位に立つことができます。

経験してきた事柄を^{かつよう}活用して、^{しゅい}主位に立とうとしても立てません。

それゆえ、まったく異質の分野に転職することです。いままで技術系であったとしたら、関係のない分野で、その頂点に立つとよいのです。

天禄星中殺の人は、一生おなじ会社に勤めるとか、おなじ仕事をしていると平社員止まりです。

天禄星の本質は転職したら駄目な星です。つまり、経験の星ですから、一つの分野で長いこと経験を積んでチカラを磨いてゆくのが天禄星です。

ところが、中殺を受けている場合は違います。

転職することです。

星が中殺されているときと、中殺されていないときでは、その内容は大きく違ってしまうのです。

参考：拘束〔捕らえて行動の自由を奪うこと。〕

参考：活用〔効果のあるように利用すること。〕

天将星中殺

てんしょうせい かちょう ほし ちょうてん ほし
天将星は家長の星（頂点の星）です。

そこが中殺されています。

最高位につくと……実力が発揮できません。

参考：頂点〔物事の行ける所へ行き進んだ状態の意。〕

しゅい つ
主位に就かなければ実力を発揮できます。

天将星中殺は補佐役のときにチカラを発揮します。

参考：主位〔中心となるもの。組織で他のメンバーをリードする地位。〕

中殺をうけると、頂点の星なのに、物事の進行中の大切なときに失敗するということが起こります。

普段のときにチカラを発揮できても、ここは重要というときにチカラを失う状態になります。

スポーツでも練習中は、強さ・チカラを発揮するのですが、ここが勝負というときにチカラが失速して発揮できないわけです。

本試合になると勝てないのです。

天将星中殺の人物は緊急時に頼りになりません。

天堂星中殺

てんどうせい
天堂星は老人の星・いんきよ 隠居の星です。

そのところが中殺されるために〔老人になれない〕
〔隠居〕になれないのです。

そのため隠居しようと思うと、不自然な状態が起こります。

これからのんびりしようと思うと病気になるとか、
精神不安定になるとか、家族との仲が悪くなるという
ことが起こります。

げんえき
現役で仕事をしていたときは、それなりに大切にされて
いましたが、仕事を退職して、家に居るようにな
るとじゃまものあつか 邪魔物扱いされるということにもなります。
天堂星中殺はこのような状態になりますから、死ぬ
まで働いたほうがよいのです。

天堂星は身中みちゆうですから〔はげ 激しく働きなさい〕という
ことではありません。

自分で〔なにかできるように〕しておけばよいです。
それはボランティアのような働き方、つまり、収入
を得るために働くということでもなくともよいです。

女性の場合は、家事が仕事だとすれば、一生それをしてゆけばよいのです。

息子のお嫁さん、あるいは親族から「お母さん家事はしなくていいからね……」

「おばあちゃん、家事はしなくていいから……」といわれて、働かないと天堂星中殺の現象がでます。

天堂星中殺をもつ若者でも、隠居状態のように……

(暇^{ひま}でやることがない)になると、老人特有^{とくゆう}ともいえる現象がでてきます。

〔口うるさい、嫌味をいう、お節介^{せっかい}]などがでてきます。これは年齢に関係なく、暇ですることがなくなるとでてくるといえます。

天堂星中殺の人は「自分はよいことをしている」と思って行動していますが、他人は迷惑に感じますから、本人は苦しむことになります。

それゆえ、忙しく働^{いそが}く^{はたら}くということではなくて、なにかしら〔自分なりにやれること〕をつくっておくことは必要です。

天胡星中殺 正式名称 [てんこせい]

てんゆめせい
天胡星は病人の星（死の直前の星）です。

通常、死の直前の姿は、かなり高齡で老衰とも考えられますが、その姿そのものが不自然になります。

つまり、死に望んでの様子のぞが不自然になります。

人間の死に方としては、衰弱すいじゃくして病気を併発へいはつするか、精神も肉体も限界げんかいに衰えて死んでゆくのが自然な死に方とすれば、その反対は突然死になります。

さい
最たる不自然な死に方は“突然死”とつぜんしです。

突然死もさまざまあります。

〔病気になるなっていたのを気がつかないで死ぬ。〕

〔まったく自覚症状じかくしょうじょうがなかったのに健康診断で病巣びょうそうが見つかり、緊急入院したけど数日後に死んでしまった。〕

〔病気が治って退院したけど、数週間後に死にました。〕
という状態も入ります。

〔病気という病気もなかったので、健康だと思っていたら、ゴルフをしている最中に倒れて、そのまま息を引き取ってしまった。〕

「自分はガンだ」といいながら、働くのを止めないで死亡する。(入院する状態なのに入院しない)。

〔病気による死〕〔病気回復後の死〕〔事故による死〕
〔殺人による死〕などがあります。

さまざまな死に方がありますが、天胡星中殺はこの
ような死に方です。その例をいくつか挙げました。

このように喩えを挙げると「早死・早世」とおもわれ
るかもしれません。そこには原因があります。

参考：喩え〔異質の物事の類似点を、わかりやすく引き合いに出した語句。〕

人間が〔事故に遭って死ぬ〕〔殺されて死ぬ〕という
話があります。

若くして死ぬには、それなりの条件が存在します。

天胡星の性格的なことを説明しますと……天胡星は
精神と肉体では〔精神が強くて、肉体が弱い〕とい
う姿です。

この状態が不自然になるために〔強い精神に弱い肉体
を合わせる〕〔弱い肉体に強い精神を合わせる〕とい
う、このいずれかになってしまいます。

天胡星中殺の人は、すごく気が強いときと、気の弱
いときの差が激しい（差が大きい）です。

気が弱いときは自信喪失のときです。

気が強いときは自己顕示で自信過剰のときです。

おだてに弱いですから、おだてられると自信過剰で自己顕示が膨らみます。

天胡星中殺の人は、この状態を1日のなかで出します。1年のなかで出します。

一生のうちで大きく繰り返して出す。ということもあります。

「病気になったのに……気がつかないで死ぬ」その状態を物事に置き換えていえば……それらの事象が実際に悪循環になっていても、気がつかないということが起こります。

精神や心理状態にかかわる（表からは見えない）その内側に悪いことが隠れてしても、表面にでないのが気がつかないわけです。

見掛けにこだわりやすい質をもつ人でもあるのです。

参考：物事〔思考。行動の対象となるすべて。〕

参考：事象〔いろいろな事柄。〕

参考：見掛け〔外観からうける印象。うわべ。〕

天極星中殺

天極星^{てんきょくせい}は「死んだ直後——この世とあの世のあいだを彷徨^{さまよ}っている星」です。

精神と肉体に置き換えますと、あの世へたどりつくまで……うろうろといたりきたり安定しない時代です。精神と肉体が分離する時代だと考えています。その分離が不完全・不自然になります。

精神と肉体……肉体を現実として考えますと、本来はその分離の姿をはっきりと区別しているはずなのに、中殺を受けますと「精神と現実を混同してしまう」そのようになりやすい人です。

参考：分離〔一体であったものから分かれて離れること。〕

参考：混同〔本来区別しなくてはならないのに、同質のものとして扱う。〕

〔たとえば〕自分が問題を抱えて困っているときに友人から助けてもらったとします。

〔あのときは本当に有り難^{おんげい}かった〕その恩恵を感謝の気持ちをもって、その意^いを表せばよいのですが、品物で返せば済む。という感覚^{かんかく}になったりします。通常、その気持ちを表すために金品の贈呈をしますが……

ここでの考え方は「ありがたいと心から感じて^{れい}礼をのべている……」その心の持ち方を論じています。

参考：感覚「その物事についての善悪・美醜のとらえ方や、それに付随する価値判断。つまり、なにかをする際の気持ちの持ちかた。」

現実と精神（心の持ち方）は違うはずなのに、お金持ちだから立派な人として見てしまうとか、高級な装いをしているから人間的にも優れているとか、粗末で小さな家に住んでいるから、^き冴えないだらけた人という風な考えをもつ人です。

参考：冴えない「どこか物足りないさま。」

人からなにか品物を頂いたとき、高価な品でなくても、その人の暖かい人間性を^く汲み^と取れます。しかし、高価な品物をくれないから駄目な人という判断をする人ともいえます。

☞ 物事を判断するときに、冷静に理性で判断しなければいけない事柄を、そのときの勢い、流れに^{まか}任せて、^{だせい}惰性で判断したりします。

人間としての^{じょう}情で判断しなければならないことを理性で判断してしまい、理性で判断しなければいけ

ないのに、情で判断してしまう側面があります。

このことは公私混同しやすい人ともいえますので、
公私混同しやすい世界に向いていますから、家族経営に向く人です。

時間的制約に縛られない、柔軟な仕事、自由業などの不規則な仕事に向きます。

かた
堅い仕事には向きません。

天極星中殺は、表面や形にこだわりやすくなりますから、内面よりも容姿で判断をする人です。

参考・理性 [ものごとはそうあるべきであるとして、判断したり
行動したりする能力]

参考・情 [真心・思いやりの心]

天庫星中殺

てんくらせい にゆうぼ ほし
天庫星は「入墓の星」です。正式名称〔てんこせい〕

死んで ^{たましい}魂 はあの世へ行き付き、肉体は自然に帰る状態が中殺を受けますから、物事の終わりに問題が起こります。

終わりが自分のおもいどおりの結果になりません。

これはうまくいくとおもったことが失敗するとか、失敗するとおもったことがうまくいった。そのような事象を含みます。

天庫星中殺をもつ人は、成功と失敗では、失敗するほうに現象が出やすいのです。

期待していたことがうまくいかないで、期待していないことがうまくゆく。という現象も起きます。

それゆえ、天庫星中殺の人は、最終的な目標を立てないほうがよいです。

このようにしようと計画していると、そのとおりにいきませんので、目標を立てないほうがよいのです。

天庫星には〔跡継ぎ^{あとつ}〕という意味があります。

天庫星中殺であっても跡継ぎの意味は変わりません。

しかし、それが不自然になります。

自然な跡継ぎというのは、実家を継ぐことです。

それが中殺を受けますから、自分の生家^{せいか}を継げないことになります。

しかし、生家以外なら継げますので、養子になることもできます。

養子運といえば『天印星』ですけど、天庫星中殺も養子運をもちます。

仕事では、ひとつの仕事を長く続けることができない現象がでます。

てんろくせいちゅうさつ てんくらせいちゅうさつ
天禄星中殺と天庫星中殺はおなじ仕事、おなじ会社にこだわらないで、転職するほうが伸びる星です。

そうでないと主位^{しゅい}には立てません。

天馳星中殺

天馳星は「あの世の最高位の星」です。

あの世の頂点、精神性の頂点の星です。

そこが不自然になります。

精神が不自然だからといって、気が狂ってしまうということではありません。

精神が不安定になるということです。

しかし、天馳星中殺の人にとっては、精神が不安定なことが正常です。

精神が不安定ということは、ひとつの心念をもたない状態です。その状態が正常なのです。

よくいえば融通性が利きます。

いつも心がふらふらしている状態が、天馳星中殺にとって正常な状態です。

参考：不安定〔安定していない。状態が一定していないこと。〕

参考：心念〔ひたむきな思い。〕

参考：ふらふら〔しっかりした考えや目的のないまま行動するさま。〕

天馳星は瞬間的に大きなチカラを発揮する星ですが、それが不自然になりますから、精神性という意味で

は、^{きよくたん}極端に頭が働くときと、ボケッとしているときの差が大きな人です。

あるいは、やる気のあるとき、やる気のないとき、その変化の程度が^{はげ}激しい人です。

その両面を繰り返します。

ボケッとしているかと思えば、ササッと仕事を始めるといような状態をつくりだします。

まわり人との歩調が合わずに、協調性に欠けるとい状態が起こります。

協調性に欠点を見せる人であり、言うことと行うことを他人は^{ひと}理解できず、つかみどころのない人です。頭の回転の速いときと、まったく働かないときの差が大きいです。

のんびりしていても、精神の^{かつとう}葛藤が激しい両極端をもちます。どんなに困難なことがあっても、直面している事とは別な事を考える精神状態をもつ人です。十二大従星中殺のなかで、もっともつかみどころのない人物、なにを考えているかわからない人です。

【天馳星】 自体にそのような側面があります。

天中殺についての基本的^{がいねん}概念はここまでです。

参考：概念〔…とはなにかということについて、おおまかな意味内容。〕

天中殺に関するさまざま事象は、これからも出てきますが、ここまでの学びが基礎なっています。

天中殺に限ったことばかりではありませんが、^{うんせい}運勢を^み観てゆくときには「^{たいうん}大運」「^{ねんうん}年運」「^{つきうん}月運」「^{にちうん}日運」の4つがあります。

重要視するのは「大運」と「年運」です。

^{さんちゅうほう}三柱法は宿命を^{さんぼんぼしら}三本柱「^{ねんかんし}年干支・^{げっかんし}月干支・^{にっかんし}日干支」に見立てています。

^{よんちゅうほう}四柱法は三柱法に「大運」を加えます。

^{ごちゅうほう}五柱法は「年干支・月干支・日干支・大運・年運」です。実際の占いは、^{おも}主に五柱法をつかいます。

10年間の運勢を大まかに観るときは、宿命に大運を加えた四柱法で観ます。

^{しゅくめい}宿命は「年干支」「月干支」「日干支」の^{さんちゅう}三柱です。

^{ねん}年の天中殺の内には「^{うち}月の天中殺」と「^ひ日の天中殺」があります。

天中殺のなかで、最も重要視しているのは「^{ねんうん}年運」と「^{たいうん}大運」であることを知っておいてください。

☞ [たとえば] 陰占宿命をみて、宿命にとって「^{しんきん}辛金」
が^あ有り^{がた}難い^{そんざい}存在であれば、その宿命全体を観て判断
します。

宿命全体というのは二十八元の^{ぞうかん}〔蔵干〕を含めてです。

[たとえば] 二十八元表を見ておわかりのように、
(^{とり}酉) のなかには蔵干の^{しんきん}〔辛金〕が^{ほんげん}本元にあります。

(^{うし}丑) の蔵干は^{しんきん}〔辛金〕が^{ちゅうげん}中元にあります。

二十八元の^{ぞうかん}蔵干を見逃さないようにしてください。

☞ ^{じゅんだく}純濁をみる時には、^{じゅんせい}純星の数と^{だくせい}濁星の数では
どちらか多いのか少ないのか、それを判断してあり
のままに^と採ってください。

そのほかにおなじものが加われば、濁あるいは純の
要素が加算されるだけです。

参考：ありのまま〔実際にあったとおり。〕

【初年】 6 1 回目【天中殺論(7)】 **終わります**

つぎの授業 ⇒ 【初年】 6 2 回目【宿命と健康】です。